

2021年6月2日
朝日放送テレビ株式会社

第58回ギャラクシー賞 報道活動部門 「シリーズ老障介護」が優秀賞受賞

朝日放送テレビ株式会社(本社:大阪市、代表取締役:山本晋也)制作のドキュメンタリー作品を含む一連の報道が、第58回ギャラクシー賞の報道活動部門で、「優秀賞」に選ばれました。ギャラクシー賞報道活動部門での受賞は、第51回(2013年度)の『「空白の68年～日朝両国に眠る遺骨～」一連の報道活動』の優秀賞以来、7年ぶりです。



受賞の対象となったのは、2017年11月から2020年9月にかけて、夕方のニュース番組「キャスト」、および「テレメンタリー」で報道を続けた「シリーズ老障介護」です。

高齢の親が障害のある子を支える「老障介護」の現実と、障害者の住まいが足りない問題を軸に、障害者と家族、障害者福祉の現場を密着取材しました。

賞を主催する放送批評懇談会からは、「日本社会が直面する高齢化と介護を直視し、視聴者に啓発的なメッセージを伝えました。取材した記者の粘り強い取り組みに敬意を表します」と評価されました。

「シリーズ老障介護」制作スタッフ

- | | |
|---------|--------------------------|
| ディレクター | 西村美智子(報道局ニュース情報センター) |
| カメラマン | 喜多貴嗣(報道局映像・編集部) |
| 撮影助手 | 片山侑紀(コールツプロダクション) |
| 編集 | 元武可菜美(アイネックス) |
| プロデューサー | 本田幹雄、藤田貴久(報道局ニュース情報センター) |